



生活・安全

安全で安心なまちを目指して

【問い合わせ】
町住民保健課
生活安全
グループ
☎ 73-7510

夏の交通安全運動

◆期間

7月11日(木)～20日(金)

◆年間スローガン

ストップ・ザ・交通事故
くめさせ安全で安心な北海道

◆運動の重点

- 飲酒運転の根絶
- スピードダウン
- と居眠り運転の防止
- 全ての座席のシートベルトの着用



夏の暴力追放運動

◆期間

7月21日(土)～8月20日(月)

◆重点目標

- 暴力団の違法な資金獲得活動の実態周知と被害防止
- 少年に対する暴力団の影響排除と環境の浄化



飲酒運転の根絶を！
7月13日は「飲酒運転根絶の日」
平成27年12月1日に「北海道飲酒運転の根絶に関する条例」が制定されました。この条例は、道民一人ひとりが「飲酒運転をしない、させない、許さない」という規範意識を持ち、社会全体で飲酒運転を根絶しようとするもので、道民や事業者に対しても、それぞれの責務を果たすことを求めています。
みんなで力を合わせて、一日も早く飲酒運転のない安全で安心な社会を作りましょう。

平成30年度栗山消防団 春季連合消防演習表彰者

(敬称略)

消防庁長官表彰

◆永年勤続功労章
団本部団長 鈴木 英雄

◆感謝状(退団者)

元団本部団長 永田 英隆
元第2分団団長 青木 剛克
元第2分団団長 藤森 洋貴
元第3分団団長 井澤 雅彦
元第3分団団長 村岡 信春
元第3分団団員 中島 豊浩

◆功績章

団本部副団長 樫澤 正則
第2分団副分団長 斉藤 哲也
第3分団分団長 國岡 正好

◆精勤章(勤続25年)

第1分団団長 渋谷 俊昭
第2分団団長 都築 輝昭

◆精勤章(勤続20年)

第2分団団長 瀬尾 正樹
第3分団団長 谷内 智隆

◆精勤章(勤続15年)

第1分団班長 中井 浩輝
第2分団班長 中川 和政
第2分団団員 藤島 利充
第3分団団員 河野 友秋
第3分団団員 岡村 伸明

◆精勤章

第2分団分団長 早苗 雄二

◆感謝状(退団者)

元第1分団団員 天野 剛生
元第2分団団員 廣岡 裕樹
元第3分団団員 岩花 智浩

◆功績章

第1分団班長 梅津 良平
第1分団班長 村上 涉
第1分団班長 大旗 修

◆精勤章(勤続10年)

第1分団団員 吉田 啓二

◆精勤章(勤続5年)

第1分団団員 森 茂樹
第1分団団員 野村 和範
第2分団団員 仁平 将太
第3分団団員 水木 祐一
第1分団団員 鈴木 孝史
第1分団団員 西岡 政則
第2分団団員 則武 悠司
第2分団団員 水上 雄亮
第3分団団員 片山 肇
第3分団団員 宮本 準
第3分団団員 岩崎 翔弥

排出ごみの適正な管理をお願いします



カラスにごみを荒らされないためのごみステーションの生ごみ散乱防止対策

カラスによるごみステーションでの生ごみ散乱被害が多発しています。

生ごみの散乱は、まちの衛生・美観を損なうだけでなく、収集作業においても大変支障をきたしてまいります。

ごみ出しのマナーをしつかり守っていただくとともに、ごみステーションの適正な管理をお願いします。

※カラスの被害でお困りの場合は、町環境政策課にご相談ください。

【問い合わせ】
町環境政策課
環境政策
グループ
☎ 73-7511

◆カラスの生態を理解

- ①非常に目が良い
非常に優れた「視覚」によって見えを探します。
- ②臭いには鈍い
臭いを頼りにごみに近づくとはいません。
- ③雑食性で何でも食べる
肉・魚・野菜・木の実など何でも食べます。特に肉類・木の実が好物で、赤・オレンジ・茶色などの肉や果実に見える部分をピンポイントで狙います。
- ④朝早く起きて行動する
夜にごみを出すと、収集されずに放置される時間が長くなり、被害に遭う時間を与えています。
- ⑤「記憶力」「学習能力」が高い
えさがある場所を何十カ所も覚えられ、一度生ごみを簡単



◆具体的な対応策

カラス対策には、次のような「物理的にごみに触れさせない対応」が有効です。

○金属製ごみステーション未設置の場合

- ①カラス除けネットを利用する
ネットの網目はカラスのくちばしを通らない程度の細かいものを使い、ごみ袋がはみ出さないようにごみ全体を包み込むように覆います。
- ※少しでも隙間があればそこからもぐってごみを引っ張り出してしまい効果が無くなります。
- ※ネットに、鎖などでおもりをつけて風などでめくれたり、くちばしで持ち上げられることを防ぐことができます。

②生ごみ袋の上にコンテナなどを被せてその上に重しを置く
重しを置くことで、カラスにコンテナを持ち上げられず物理的にごみをあさられることを防ぐことができます。



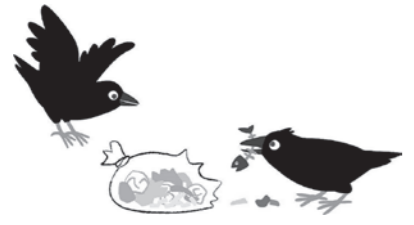
※コンテナ以外に、衣装ケースなどでも代用できます。
※透明でない衣装ケースの場合「ごみが入っています」と記載いただければ収集することができます。

③生ごみ袋を蓋付きのバケツの中に入れる

- 中身が見えず、蓋にロックが付いているものと、完全に防御することができます。
- ※蓋にロックがないものは、蓋の上に重しをのせるなどの対策が必要です。
- ①・②・③を複合的に実施すると、より効果的にカラス被害を防ぐことができます。

○金属製ごみステーション設置の場合

- ①ごみステーションの下部や側面の部分に板を張る
- ②ごみステーション内に衣装ケースや発泡スチロールの箱を設け、その中に生ごみ袋を入れる
※下部や側面の網目からごみをつかれることがあります。





元気が一番

保健のお知らせ

【問い合わせ】
町保健福祉課
健康推進
グループ
☎ 73-2256

特定不妊治療費の助成を行っています

町では、特定不妊治療（体外受精および顕微授精）に要した費用の一部を助成する事業を行っています。

◆助成の対象となる方

特定不妊治療以外の治療法では妊娠の見込みがないか、または極めて少ないと医師に診断された方で、次の①～③の全てに該当する方

- ①町内に3カ月以上住所がある方
- ②北海道が実施する特定不妊治療費助成制度を申請し、「北海道特定不妊治療費助成事業」の交付決定を受けている方
- ③町税および使用料などの滞納がない方（ご夫婦とも）

◆助成額

特定不妊治療に要した費用から北海道が実施する北海道特定不妊治療費助成事業による助成金額を控除した額（1回あたり上限15万円まで）

◆助成回数

40歳未満の方は、通算6回、40歳以上の方は、通算3回（年間助成回数に限度なし）

※平成27年度以前に申請した方は、申請年度、年齢、すでに受けた助成回数によって、今後受けられる助成回数が異なります。申請に必要な書類などの詳細は、右記までお問い合わせください。

7月は熱中症予防強化月間です！

熱中症は、気温が高いことなどで、体の中の塩分（ナトリウムなど）や水分のバランスが崩れ、体の調整機能がうまく働かなくなることでおきます。

皆さんが正しい知識を持ち、少し意識して生活すること、声をかけ合うことで熱中症は防ぐことができます。

◆熱中症予防声かけプロジェクト

- （環境省HPより）
- 飲み物を持ち歩く
- 休息をとろう
- 声をかけ合おう

○栄養をとろう

○温度に気をくばろう

◆8月の健（検）診

【日程】8月8日（水）

※役場から無料バスで送迎します。

【場所】札幌がん検診センター
【健診機関】北海道対がん協会

【受診できる項目】

特定健診・生活習慣病予防健診・いきいき健診・各種がん検診（胃・肺・大腸・子宮・乳）

※それぞれの項目には対象があります。詳細は「保健サービスガイド」をご確認ください。

救急相談は

「救急安心センターさっぽろ」へ

「救急安心センターさっぽろ」は、救急医療相談に看護師が24時間、年中無休で電話対応する相談窓口で、平成27年4月から利用可能となっております。

平成29年度の救急医療相談の利用者数（表参照）は117件で、そのうち119番に転送されたのは13件でした。

【表】平成29年度救急医療相談利用結果

相談区分	件数
医療機関案内	12件
救急医療相談 (うち119番転送)	80件 (13件)
間違い	6件
その他	19件
合計	117件

高齢化社会により、救急医療のニーズがますます増えることが予想され、限られた救急医療資源を適正に使うことが重要になってきます。また、重症者が救急車を呼ぶことへのためらいをなくすことで、患者、医療機関双方の負担軽減につながることも大切です。

急な病気やケガで迷ったら！
24時間365日
看護師が相談に対応します
#7119
救急安心センターさっぽろ
ダイヤル回線・一部IP電話からは、☎011-272-7119へ



保健福祉のコラム

あらい歯科院長 新井 由



誤嚥と窒息

平成18年に全国で不慮の事故によって亡くなった人はおよそ3万8千人。このうち窒息死は9千人を超え、家庭内における窒息事故が4千人近くを占めています。

食べ物本来、口からのどを通り食道に入ります。食道に入る瞬間、ゴックンと飲み込むことを「嚥下」と言いますが、誤って気管や肺に入ってしまうことを「誤嚥」と言い、誤嚥したものが気管に詰まり呼吸ができなくなることを「窒息」と言います。もともとヒトの体には、異物が気管に入りそうになるとむせを起こして外に押し出すという「セキ反射」というメカニズムが備わっています。

しかし、高齢者ではむせを起こす力が弱く、嚥下の働きも低下しているため、誤嚥や窒息を起こしやすくなります。とくに75歳以上

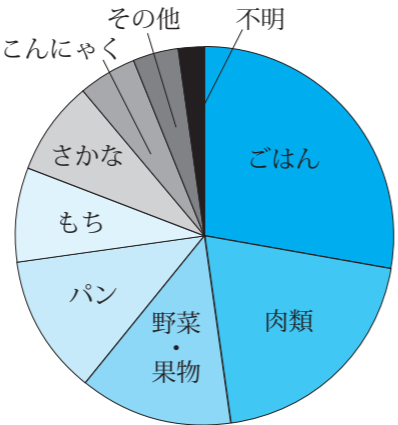
の高齢者に多くみられ、高齢になるほど事故が起きやすいことがわかります。

高齢者に多い窒息事故

在宅介護の高齢者を対象にした調査によれば、1割以上の人が過去1年間に1回以上窒息を経験。また、脳血管障害を起こしたことがある人、嘔吐・飲み込む機能が落ちてきている人では、正常な人の3倍以上も窒息を起こしやすいことが明らかになっています。

窒息という、あたかも気管の入り口が異物で完全にふさがることと起こると思われがちですが、実際にはその一部が気管に触れているだけでも起こります。異物が気管に入りかけるとセキ反射が起こりますが、反射は異物がとれるまで繰り返して起こり、その間息を吐き続けることになり、その結果、十分息を吸うことができなくなり、死に至るのです。

窒息の原因になった食品



食事と空気が交差するヒトののど

ほ乳類の中でも、誤嚥や窒息を起こすのは人間だけ。その理由は、のどの構造にあります。食べ物（咽頭）を通って食道に入ります（嚥下）。空気ものどを通りますが、この場合は喉頭を経由し、気管へと入ります（呼吸）。ヒトも動物もこの道筋は同じですが、決定的に違うのは、動物ののどでは嚥下の道と呼吸の道が分かれていて、ヒトののどでは両者が交差しているという点。その

ヒトののどは平面交差点方式

ヒトののどは①喉頭の位置が低い、②咽頭が縦に広い、③軟口蓋と喉頭蓋が離れているという特徴があります。嚥下の道と呼吸の道は咽頭という大きな平面の交差点で交差しているため、信号機を切り替えて交通整理しなければなりません。

動物ののどは立体交差方式

動物ののどは、喉頭の位置が高く、軟口蓋と喉頭蓋が近接しているという特徴があります。嚥下の道と呼吸の道は立体交差状態に走っているため、誤嚥や窒息という事故は起こりません。空気の通路は常に確保され、呼吸をしながら食べ物を飲み込むことができます。これは、ヒトに最も近いほ乳類であるチンパンジーでも同じ。ちなみに、人間の赤ちゃんも生後3カ月くらいまではのどの構造が立体交差方式になっており、呼吸をしながらミルクを飲むことができます。

※栗山町地域医療協議会のご協力により、「リレー方式」で連載しています。